

同 郡 檢見川町
海上郡高神村

高 井 純
駒 崎 芳 松

取引状況

甘藷及馬鈴薯澱粉の取引は生産者自ら製造と販賣とを營むもの極めて少なく概ね産地仲買商に賣渡すものとす仲買商は之を自家に於て細末となし又は粉狀のまゝにて各地に取引するものとす然れども近來稍大なる生産者中には自ら製造販賣をなすものあり海外輸出品にありては組合又は仲買商は東京、横濱及神戸の貿易商の手を経て英、佛方面に輸出せらるものとす

(口) 藁製品

藁製品中産額の最も多きものは苳、繩にして苳、俵、草履、草鞋等之に亞ぎ其産額は逐年増加しつゝあり今最近に於ける藁製品の價額を示せば次の如し

大正元年	八〇九、八二六	大正四年	四九六、八六六
同 二年	八四九、〇四七	同 五年	五九六、六五〇
同 三年	六五六、五九八		

右産額中苳は長生郡及市原郡に多く夷隅郡之に亞がり殊に長生郡の者は從來より其名高く京濱地方に販出せられ所謂應南苳と稱せらるゝ者是なり殊に長生郡應南町附近は夙に本業の隆盛なりし所にして其後漸次四周に波及し隣接せる市原、夷隅兩郡の如き遂に今日の發達を見るに至れるものなり而して之が需要は主として京濱地方の肥料製造會社にして縣下苳の輸出額は一ヶ年七百万枚以上に達せり

東葛飾郡市川町附近及海上郡銚子町産の繩は俵裝及荷造用として需要者に歡迎せらる

一八四

主産地

吹菴 長生郡、市原郡、夷隅郡
 繩 海上郡、香取郡、山武郡、東葛飾郡
 草履草鞋 安房郡、香取郡、印旛郡、山武郡

主なる取引者

長生郡廳南町
 市原郡鶴舞町
 夷隅郡大原町

松本市太郎
 鈴木五郎七
 服部勝五郎

取引状況

藁加工品は主として農家の副業生産品にして吹は産地仲買商に於て菴のまゝ買入れ之に加工して吹となし東京の藁製品商又は肥料製造會社に販賣するものなり

(八) 壘表、藁産類

本品生産の最も多きは安房郡にして縣下總生産額の七割以上を占め夷隅郡之に亞ぐ其他各郡共多少産出すれども僅少にて擧ぐるに足らず最近五ヶ年間の生産變遷を示せば次の如し

大正元年	四〇、三六二 円	大正四年	二六、七三六 円
同 二年	三四、四五一	同 五年	三六、五二八
同 三年	二八、四九三		

(二) 大根切干

一八五

本品は長生、千葉、東葛飾、印旛及海上の各郡に産出せらるゝも其大部分は東葛飾郡の生産に係り總額の約七割以上に達せり、就中同郡中山村附近に産するものは品質優良なるを以て市場に名聲を博せり製品は京坂地方を始めとし遠く海外にまで輸出せらる今最近に於ける生産統計を示せば左の如し

年次	産額	年次	産額
大正元年	六五、七〇六	大正四年	五二、九六一
同 二年	八八、一九九	同 五年	六四、九三二
同 三年	七八、九一五		

主産地

東葛飾郡 中山村、葛飾村、鎌ヶ谷村、八榮村、法典村、高木村、

塚田村 風早村、大柏村

主なる取引者

東葛飾郡船橋町

松丸清作

同 郡 中山村

松崎吉右衛門

取引状況

産地には多くの仲買商介在するも主として商品の取扱をなし居るものは前記の二名にして松崎商店は東京との取引多く松丸商店は露領浦港日本商店と對外取引をなせり

其他切干甘藷は長生、及香取郡に産し乾燥牛蒡は東葛飾郡に産すれども其額少な

く年額前者は三百七十圓後者は三千圓を算するに過ぎず

一八八

(ホ) 箆及籠類

本品は家具用、農工業用、漁業用及養蠶用等に使用せらるゝものにして年額約十
万圓を算す然れども特に之が主産地と目すべきものなく殆んど各地に於て産出せ
られ且多く縣内に於ける需要を充すに過ぎざるなり最近五ヶ年産額を示せば左の
如し

年次	價額	年次	價額
大正元年	七六、二六四	大正四年	九一、三五一
同 二年	七七、八六九	同 五年	九五、六一八
同 三年	九〇、八一九		

(ヘ) 箕

匝瑳郡豊榮村を主産地とし同地方に於ける主要なる副業にして逐年其の産額を増
加せり今最近に於ける變遷を示せば次の如し

年次	價額	年次	價額
大正元年	三三、二九五	大正四年	二五、九八三
同 二年	三三、八六〇	同 五年	三〇、七九七
同 三年	三二、七四〇		

(ト) 團扇骨及團扇

安房郡に於ける特産にして年額二万八千圓以上主として同郡館山町、船形町及磯

一八九

町等より産出せらるる船形町にありては副業として漁業地一帯に製造せらるる近來は骨のみに止らず團扇の産出をも見るに至れり製品は京濱地方に移出せらるる而して其原料は安房郡産以外に君津、市原の兩郡を始め遠く伊豆加茂郡及三宅島等より移入せらるる
主なる製造及取引者

安房郡船形町

團扇原料株式会社

(チ) 揚子

年額一万六千圓内外なりと雖逐年増加の傾向を示せり主なる産地は君津郡久留里町附近にして同地方に於ける主なる副業たり産地商人の手を経て主に京濱地方に

移出せらる

房揚子は漸次需要減少の傾きを呈せり原料は何れも同郡松丘、龜山兩村方面産のクロモチを使用せり
主なる製造取引者

君津郡久留里町

小平誠司

(リ) 蠶網

産額多からずと雖も匝瑳郡八日市場町、須賀村及平和村地方に農家の副業として年々一万五千圓内外を産出せらるる網に繭製、茅製の二種ありて前者は六分後者は四分の生産割合を示せり

主なる産地取引者

匝瑳郡八日市場町

伊地知源兵衛

取引状況

本品は主として八日市場伊地知商店に依りて取扱はれ其仕向先は群馬、長野、福島及青森の諸縣を主とし埼玉、山梨及北海道方面に於ける蠶具商に對しても取引せらる

(又) 簞

本品は各郡共多少産額を見ざるにあらざれども東葛飾及印旛兩郡は其主なる産地とす何れも農家の副業として前者は總生産額の約五割後者は二割以上を産す大正

五年度の産額は一万三千圓に達せり

主産地

東葛飾郡

千代田村、八木村

印旛郡

富里村、永治村

(ル) 管 笠

本品は長生、山武及匝瑳の各郡に産するものにして年額約六千圓に達し長生郡は其九割を占む而して其主産地は長生郡の鶴枝村、豊榮村及五郷村等なりとす

(オ) 藍 玉

年額一万七千圓以上にして東葛飾郡の九千九百圓最も多く海上郡の三千五百圓、

安房郡の一千圓等主なるものとす

(ワ) 藺編笠

本品は匝瑳郡豊畑村、八日市場町及香取郡小見川町等に農家の副業として産出せらるものにして年額六千圓以上に達す匝瑳郡は最も多く總額の約五割を占む

(カ) 苦

年額三万圓に達し東葛飾郡の二万六千圓最も多く千葉郡の二千八百圓之に亞ぐ主なる産地は東葛飾郡船橋町、市川町、明村、千葉郡犢橋村及譽田村等なりとす

(ヨ) 葎 簍

本品の年産額は六千圓以上を算す其中最も多く産するは東葛飾郡にして總産額の

五割以上を占め海上郡之に亞ぎ一割六分に達せり主なる産地は東葛飾郡船橋町、市川町、明村及海上郡海上村とす

(タ) 下駄表

本品の年産額は六千五百圓にして海上郡最も多く其六割以上を占む主なる産地は本銚子町及海上村なりとす

(レ) マニラ麻繫

本業原料マニラ麻は横濱、神戸及大坂の輸入商によりて輸入せられ之を加工して更に輸出するものとす而して年産額二十八万圓以上に達し千葉郡最も多く約五割を占め東葛飾、海上、香取の各郡之に亞ぐ

主産地

千葉郡 千葉町、蘇我町
東葛飾郡 關宿町、野田町、旭村
海上郡 本銚子町
香取郡 小見川町

主なる生産者

千葉郡千葉町 吉原小三郎
同 齋藤茂吉
同 鶴岡兵五郎
東葛飾郡野田町 西宮幸藏

同

香取郡小見川町

成塚幸太郎
加久田喜太郎

取引状況

本品は産地生産者と横濱輸出商との間に直接取引せらるるものにして商品は主に北米合衆國、英國及佛國等に輸出せらるる本縣産品の主なる取引商人は左の如し

横濱市

笠原庄太郎

同

茂木合名會社

同

新井清太郎

主なる原料マニラ麻輸入商

横濱市

小倉貿易部

同 武藤商店
神戸市 播磨屋商店

經木眞田は東葛飾郡に産するのみにして其産額百三十五圓に過ぎず

(ツ) 養蜂

本縣に於ける養蜂業は大正二、三年頃には有利なる副業として縣下各地方に之が飼育を試むるものありて一時は飼養者を増加したりしも元來斯業に經驗なきもの多く飼養管理の方法宜しきを得ざりし爲め成績良好ならず漸次飼育者を減するに至れり安房、君津地方に於ては將來有望なりと認めらるるも其他の地方にありては一般に蜜源の關係上發達の見込み少なし

主なる養蜂地方

安房郡 北條町、富浦村、千歳村、南三原村
君津郡 金田村、久留里町、富岡村
長生郡 一宮町
山武郡 大網町、福岡村、蓮沼村
市原郡 東海村、姉ヶ崎町

種類

イタリヤン種、カーニガラン種、サイプラス種、ゴールデン種、雜種

生産額

種類	數量	價額
分離蜜	一七四三斤	五九六九〇円
總計		一九九

推リ 蜜 蠟

九九	六九〇〇〇
一七	一四〇〇〇
一、八五九	六七九、九〇〇

取引状況

生産物は罐詰、壘詰となし薬舗又は食料品販賣店に卸賣をなし或は一般需要者に賣却す昨今漸く需要増加したるも供給之に伴はざるの状況にあり
 其他地方により特殊の副業尠からざれども何れも産額多からず僅々數千圓に過ぎざるを以て特に之を記述せず
 以下養蠶、養鶏、養豚につき少しく述べん

(ツ) 養 蠶

養蠶の最も盛なるは匝瑳、山武、印旛、香取の各郡にして何れも一万五千石以上を産し長生、海上の二郡之に亞ぎ五千石以上の産額あり君津、東葛飾の二郡は相伯仲し千葉郡と共に三千石内外市原、安房の兩郡は二千石内外を産し夷隅郡最も少なく千三百餘石なり今最近五ヶ年間の繭の生産額を示せば左の如し

年次	數量	價額
大正元年	一一〇、九七七	三、七三三、四一一
同二年	一一六、〇四二	四、三四五、四四四
同三年	一〇八、九一六	四、一〇〇、〇八九
同四年	一一二、九九〇	三、三五八、七五七
同五年	一三九、九六七	六、二三四、〇四四

掃立は春蠶にありては安房郡最も早く毎年四月十日乃至二十日迄の間に行ひ東海

岸及上總地方之に亞ぎ北部最も遅く概ね四月下旬乃至五月上旬なり秋蠶は早きは七月中旬頃にして九十九里の沿岸最も早く大部分は八月一日前後に掃立を行ひ之を本秋蠶と稱す晩秋蠶の掃立は頗る長き期間に亘ると雖も大部分は八月中旬頃發生するものなりとす

蠶室は稀れに之を特設するものあれども多くは居宅兼用なりとす、本縣農家の住宅は概ね空氣抜の設備なきを以て從來氣抜及火爐の設備を奨勵し其結果養蠶組合等にありては進んで之を實行するに至れり彼の農家の屋上亞鉛製圓筒の樹立せるは即ち養蠶氣拔なり

蠶具は概ね縣内の生産に係り蠶網の如き前に述べたる如く之を縣外に移出するの

狀況なり蠶籠は大部分竹製にして木製の者もあり形狀は圓形及長方形相半し蠶網は専ら蔦草製を用ふ蠶蒔は從來縦糸又は縦繩の囊蒔を使用せんが近來新聞紙又は蠶座紙を使用するもの多きに至れり

(ネ) 家 禽

家禽は農家の副業として最も適切なるものなるを以て縣は之が指導奨勵に努め曩に種禽種卵配付規程を發布して廣く民間に良種の普及を行ひ斯業の改良發達を促したる結果今や本縣は其生産力に於て全國中第一位を占むるに至れり而かも卵肉の需要は年と共に増大せるを以て斯業の前途は甚だ有望なりとす今最近に於ける五ヶ年間の羽數及産卵數等を示せば左の如し

年次	飼養戸数	家禽		産卵		飼養者1戸の平均羽数
		羽数	価額	個数	価額	
大正元年	一三八、九八八	一三五四、三八五	五四二、三五七	八八、二二八	一、七八二、〇九九	九七四
同 二年	一三六、〇一四	一三二五、三六七	五三七、三六八	八八、八三七	一、七八二、〇九九	九七四
同 三年	一三九、九四六	一三四九、八七〇	五六二、五六九	八五、三九二	一、八五八、九三六	九八六
同 四年	一四三、四三八	一六四八、二七五	六五九、一〇八	一〇二、五五四	一、八四一、四九九	一一、四九
同 五年	一五一、四〇八	一九六七、一六七	七五六、九四九	一一九、一四五	一、三二九、八五六	一三、〇〇
		合計額		合計額		
		一、三二九、八五六		一、三二九、八五六		

(十) 豚

養豚事業は近年肉食の流行と共に需要額に増加し殊に農家の副業として最も適當

なるものなるを以て縣は之が獎勵に努め原産地より良種を購入して種豚の供給に資し種類の改良を圖り今や本縣の豚は全國に卓越の地位を占め毎歲各地より種豚の購入を申込むもの相繼ぐの状態に在り而して之が主産地は千葉郡にして東葛飾君津、海上の各郡之に亞ぎ種類はヨークシャー種及バークシャー種最も多し最近五ヶ年間の統計を示せば左の如し

年次	飼養頭數	生産頭數	生産額
大正元年	一五、五九二	一〇、九三〇	—
同 二年	一六、二二九	一三、〇四八	—
同 三年	一七、七七四	一三、九七五	—
同 四年	一七、八九二	一三、四四六	三四、五三八
同 五年	一七、一八三	一三、九八八	四八、九六〇

附 録

主なる果樹園經營者

(一) 梅の部

梅

梅、梨、葡萄、枇杷

梅

梅

千葉郡二宮村

印旛郡佐倉町

全 郡木下町

香取郡常盤村

森 田 榮 吉

堀 田 正 恒

稻 村 房 次 郎

石 橋 直 次 郎

(二) 桃の部

全 桃

安房郡神戸村

全 郡富浦村

半 澤 國 次

岡 本 國 太 郎

桃、梨、葡萄、苹果、枇杷
桃、葡萄、枇杷

長生郡茂原町

山武郡山邊村

千葉郡譽田村

東葛飾郡鎌ヶ谷村

全 郡八幡町

椎 野 善 助

江 口 平 良

米 倉 平 吉

石 井 治 助

監 物 善 次 郎

(三) 梨の部

全 全 全 全 梨

安房郡豊田村

夷隅郡中根村

長生郡土陸村

全 郡本納町

全 郡南白龜村

加 瀬 兩 太 郎

中 村 定 五 郎

齋 藤 石 藏

穰 葉 善 吉

今 井 文 之 助

梨、柑橘、桃、葡萄
 梨、桃、葡萄
 梨、葡萄
 梨、桃、葡萄
 梨、葡萄、桃、柿、栗
 梨、柿、柑橘
 梨、桃、葡萄
 梨

山武郡瑞穗村
 市原郡東海村
 千葉郡二宮村
 東葛飾郡新川村
 全郡中山村
 全郡市川町
 印旛郡富里村
 香取郡豊浦村
 全郡全村
 海上郡旭町
 匝瑳郡榮村

二〇八
 小高吉松
 小出林吉
 林九二松
 森田繁男
 山田勘次郎
 後藤彌五郎
 末廣農場
 篠塚新之助
 鈴木保男
 加瀬藤次郎
 越川孫兵衛

柿 全 全 全

(四) 柿の部

長生郡藤南町
 全郡全町
 印旛郡志津村
 全郡全村

佐久間清吉
 日下忠
 深山庄助
 森谷善一郎

枇杷

(五) 枇杷の部

安房郡富浦村

金木熊次

葡萄

(六) 葡萄の部

東葛飾郡大柏村

鈴木丑五郎

全全全

柑橘

全

柑橘、梨、葡萄

柑橘、梅、桃

柑橘、桃、葡萄

橘柑

(七)

柑橘

の部

全郡全

全郡國分

全郡八幡町

安房郡岩井村

夷隅郡中根村

君津郡長浦村

全郡慶根村

長生郡八積村

全郡一宮町

山武郡正氣村

岡本千里

山崎三之助

種山岩吉

福原鼎司

渡達弓太郎

大森芳江

重城泰

淺野泰次郎

薦野勝

石井藤四郎

全柑橘

全柑橘、梨

全柑橘

全

(八)

栗

の部

全郡全

全郡全

市原郡東海村

全郡全

匝瑳郡榮村

千葉郡譽田村

印旛郡川上村

全郡志津村

全郡本埜村

鈴木馬之助

大木仲太郎

鶴田作太郎

齋藤藤次郎

大木喜太郎

大塚時藏

山本大二郎

根本林藏

岩井泰一

主なる苗木の生産販賣者

栗、桑、扁柏、樺	東葛飾郡七福村	清水源太郎
全	全郡全村	藤井源之助
栗	全郡八木村	鈴木八五郎
柿、桑、杉、檜	全郡川間村	染谷利太郎
梨、葡萄、桃	全郡八柱村	松戸覺之助
全	長生郡土睦村	實方美家二
桑	全郡八積村	矢部徳太郎
果樹、森林、庭園樹苗木	全郡高根本郷村	河野万吉
全	全郡全村	河野好次郎
果樹、桑、杉	香取郡大須賀村	高木音次郎

梨	全郡森山村	中島勇太郎
全	全郡久賀村	向後彦太郎
枇杷	安房郡富浦村	古内金五郎
全	全郡九重村	馳川喜太郎
桃	全郡富浦村	大矢喜之助
果樹、庭園森林樹木	夷隅郡中根村	三上戊子
果樹、庭園樹木	全郡千町村	三枝榮重郎
桑	千葉郡白井村	森谷源藏
全	全郡譽田村	内海寅吉
全	全郡全村	島田龜吉
庭園樹木	全郡全村	高橋勘七

大正七年三月二十八日印刷
大正七年三月三十一日發行

編纂者 千葉縣內務部

印刷者 岩倉順造

電話千葉 一五〇番
振替口座 九三九八番

千葉縣千葉郡千葉町千葉五百四十八番地

印刷所 多田屋 千葉活版所

339
876A

終

